

# 那覇港管理組合の取り組み (クルーズ)



*Naha Port Authority*

平成29年度 8月

# 那覇港の全景

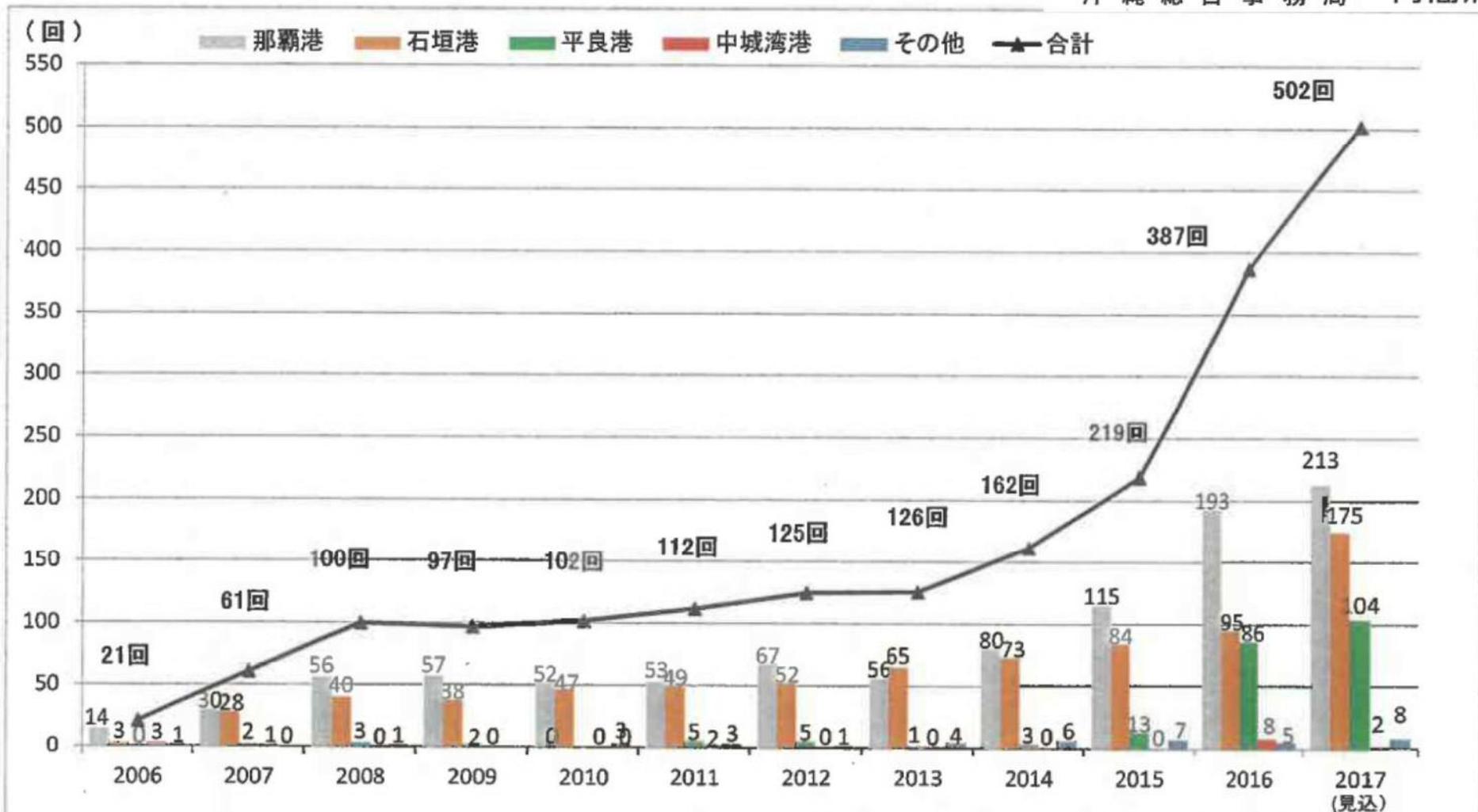
(陸域 約600ha 海域 約3,200ha)



# 沖縄県内のクルーズ船寄港回数の推移 (2016年実績)

## 【沖縄県内のクルーズ船寄港回数の推移】

平成28年1月19日  
～美ら島の未来を拓く～  
沖縄総合事務局



※2017年1月5日時点。天候等により変更の可能性がある。

※港湾管理者(沖縄県、那覇港管理組合、石垣市、宮古島市)からのヒアリングに基づき沖縄総合事務局が作成。

# 那覇港におけるクルーズ船寄港実績① (2017年6月30日時点)

- ・ 2017年寄港回数: **237**回予定(前年の1.2倍)
- ・ アジア最大級 クァンタム・オブ・ザ・シーズ(全長=348m 総トン数=167,800GT)が 2016年**9**回、2017年は**3**回予定  
 オベーション・オブ・ザ・シーズ(全長=348m 総トン数=167,800GT)が2016年は**2**回、2017年**2**回予定  
 ゲンティン・ドリーム(全長=335m 総トン数=151,300GT)が2017年初寄港(4/4)含め**28**回寄港予定

那覇港におけるクルーズ客船寄港回数・入港前乗客数

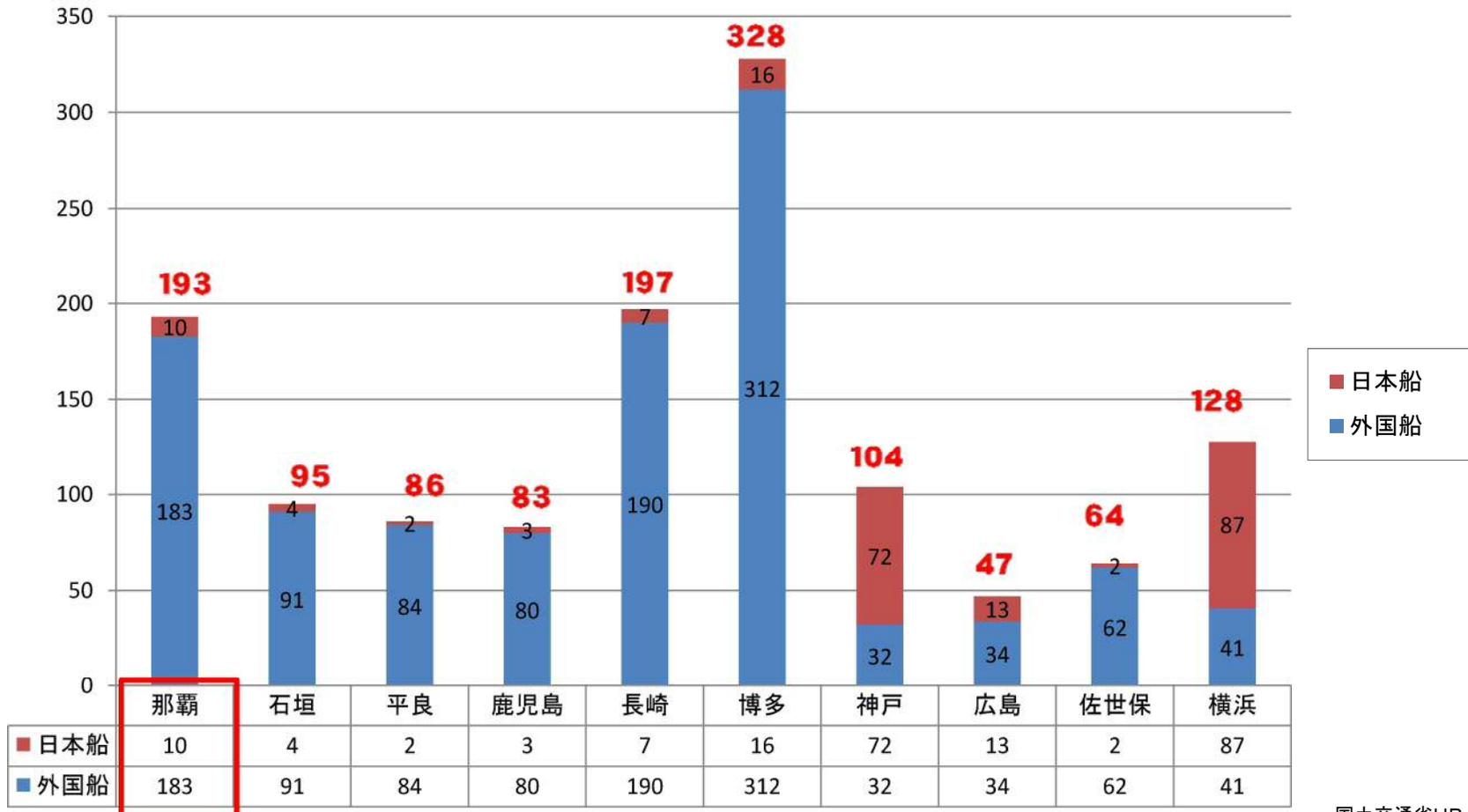


# 那覇港におけるクルーズ船寄港実績② (2016年確定値)

- ・ 2016年外国船寄港回数は、博多、長崎に次ぎ那覇港は**第3位**。(前年105回)
- ・ 2014年4月より**那覇クルーズターミナル**を供用開始、2015年には**ボーディングブリッジ**を供用開始し、また、2016年4月、**那覇港管理組合にクルーズ推進課を新設**するなど受入体制の強化を進めている。

2016年の我が国主要港におけるクルーズ船寄港回数

(回)

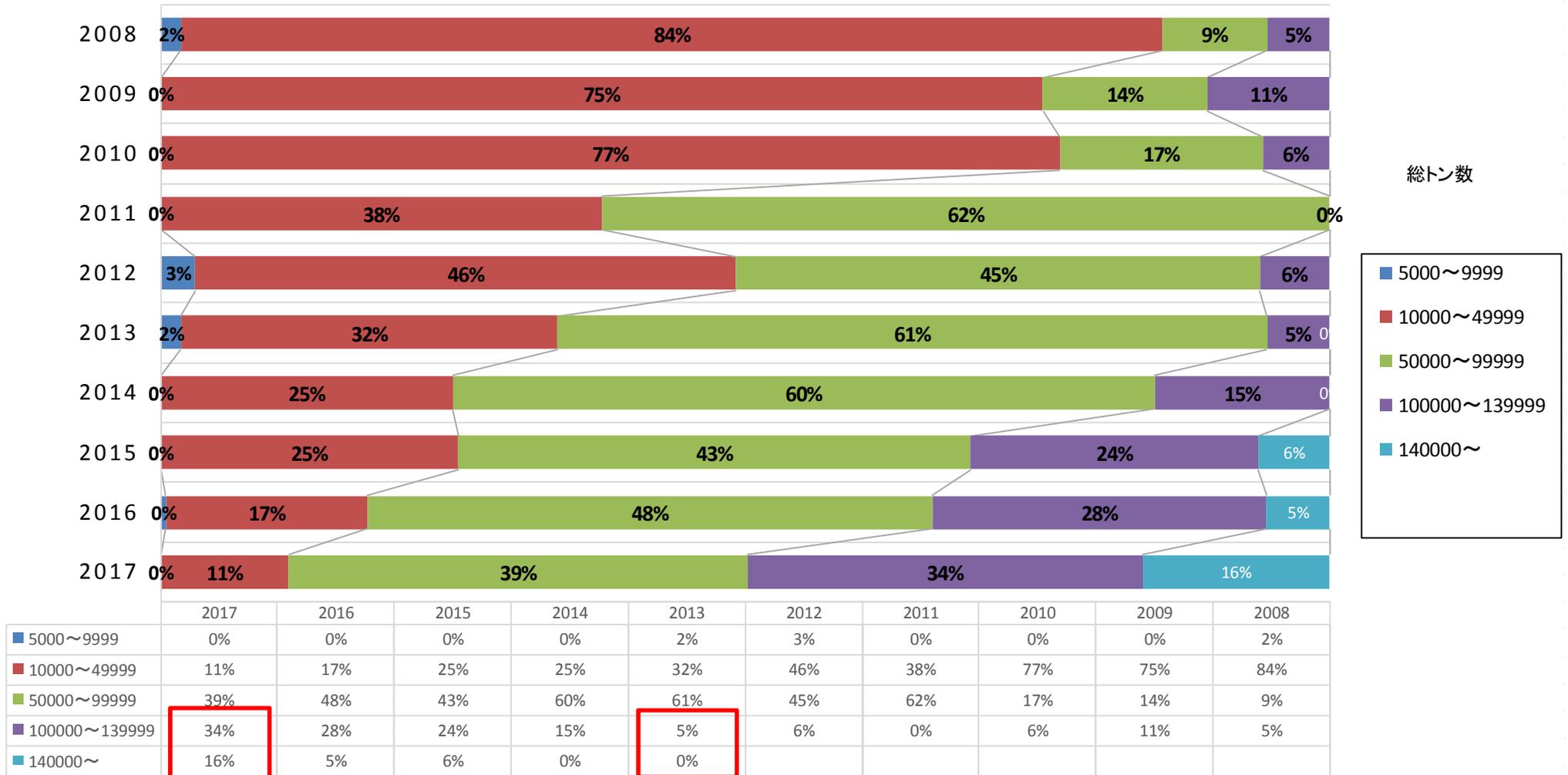


国土交通省HPより

# 那覇港におけるクルーズ船寄港実績③ (2017年6月30日時点)

・寄港するクルーズ船の大型化が進んでいる。

## トン階級別入港クルーズ客船



# 那覇港におけるクルーズ船の受け入れ

## クルーズ船の受入状況

現在、那覇クルーズターミナルでは13万t級以下のクルーズ船しか対応できず、大型船の入港や複数同時入港の際は国際コンテナターミナル等の貨物バースを活用し受入を行っている。貨物バースには、旅客施設がないため、クルーズ客の満足度が低下しており、沖縄観光のイメージダウンにつながりかねない状況である。

**【課題】**  
 複数隻同時入港、16万t級の入港  
 → 現状:貨物ふ頭で受け入れせざるを得ない  
 新港7号岸壁利用貨物船の大型化への対応

**【対策】 第2クルーズバースの早期整備**



※平成29年6月30日現在

# 既存岸壁を活用したクルーズ船受入強化

## 新港9号、10号岸壁の利便性向上

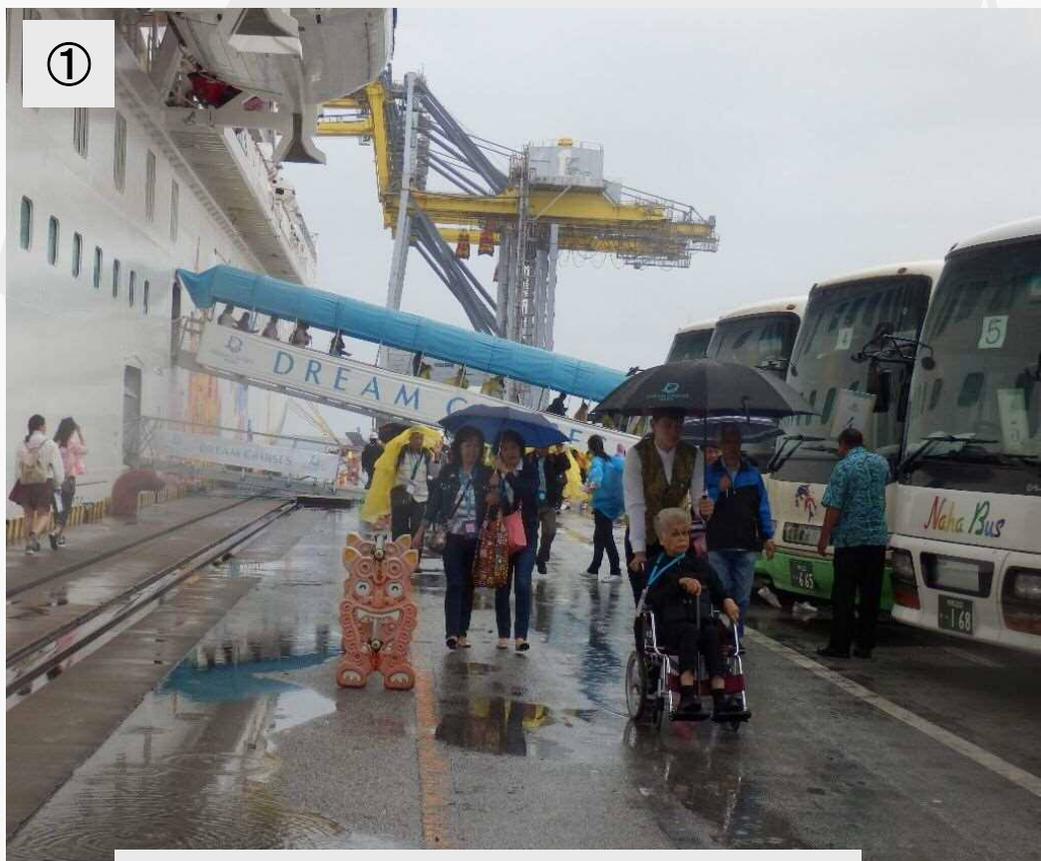
9号岸壁南側の係留施設(ドルフィン)整備は大型クルーズ船、10号岸壁北側の岸壁延伸整備は大型コンテナ船の接岸が可能となり、大型クルーズ船及び大型貨物船の同時接岸が可能となることで利便性の向上が図られる。



# 第2クルーズバースの早期整備に向けて

## 1. 貨物バス受け入れでの課題

- ①貨物ターミナル利用のため、旅客と貨物が輻輳し安全性や快適性が懸念される。
- ②大型旅客船用のターミナルビルがなく混みあい、CIQ、観光案内、両替等のサービスも不十分な状態である。
- ③バスやタクシーの駐車場が不足し、2次交通の環境整備が課題となっている。



① 新港9号岸壁(国際コンテナターミナル)接岸時の受け入れ状況(ツアーバスへの乗車)



② 大型クルーズ船(ゲンティンドリーム)寄港時の新港ふ頭船客待合所の状況(タクシー待ちのピーク時)



③ 新港ふ頭船客待合所周辺の状況(タクシー乗車)

# 第2クルーズバースの早期整備に向けて

## 2. 第2クルーズバースの位置付け

那覇港ではクルーズ船の寄港が急増するとともに、クルーズ船の大型化も急速に進んでおり、その対応が喫緊の課題となっている。また、将来的に需要増も見込まれることから、昨年12月16日に港湾計画の一部変更を行い、22万トン級まで対応可能な第2クルーズバースを港湾計画に位置付けた。

## 3. 整備概要

第2クルーズバースの整備については、岸壁及びその背後100mのふ頭用地を国の直轄事業で整備し、残りのふ頭用地及び旅客船ターミナルなどを那覇港管理組合が整備する予定。(岸壁仕様:延長430m、水深12m)

## 4. 整備概要に向けた取り組み

那覇港管理組合は、平成30年度の事業着手に向け予算を要求しており、できるだけ早期に供用ができるよう、国や構成団体と連携して取り組んでいきたい。

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 対象船                |           |
| 22万トン級(オアシスオブザシーズ) | 【延長】 430m |
| 14万トン級(クイーンメリー2)   | 【水深】 -12m |



## ■第2クルーズバースの寄港対象とするクルーズ船の船型(船長・喫水)

### 【世界最大船長のクルーズ船】

Oasis of the Seas(オアシスオブザシーズ)



全長 361m 全幅 66m 満載喫水 9.1m  
総トン数 225,282トン 旅客定員 5,400名  
国内寄港：なし アジア寄港：なし  
初就航：2009年

資料：ロイヤルカリビアンインターナショナルHP

### 【世界最大喫水のクルーズ船】

Queen Mary 2(クイーンメリー2)



全長 345m 全幅 41m 満載喫水 10.3m  
総トン数 148,528トン 旅客定員 2,592名  
国内寄港：横浜港、大阪港、長崎港  
アジア寄港：上海港  
初就航 2004年

資料：株式会社カーニバル・ジャパンHP

# 参考：16万トン級クルーズ船の寄港(クアンタム・オブ・ザ・シーズ;オペーション・オブ・ザ・シーズ)



## 【船舶概要】

クアンタム・オブ・ザ・シーズ  
(オペーション・オブ・ザ・シーズ)

接岸：新港9号、10号

全長 348m

総トン数 167,800GT

喫水 8.5m

乗客定員 4,180人(1室2人使用時)

総乗客定員 4,905人(全ベット使用時)

船社 ロイヤル・カリビアン

船籍国 バハマ

2015年8月1日

アジア最大級のクルーズ船「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」が那覇港に初寄港しました。

(2015年7回、2016年9回、2017年3回予定)

2016年10月31日

「オペーション・オブ・ザ・シーズ」が初寄港しました。

(2016年2回、2017年2回予定)

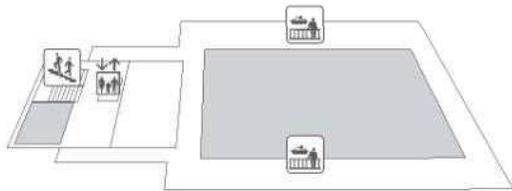
# 那覇クルーズターミナル(平成26年4月1日供用開始)

2014年4月 那覇クルーズターミナル オープン

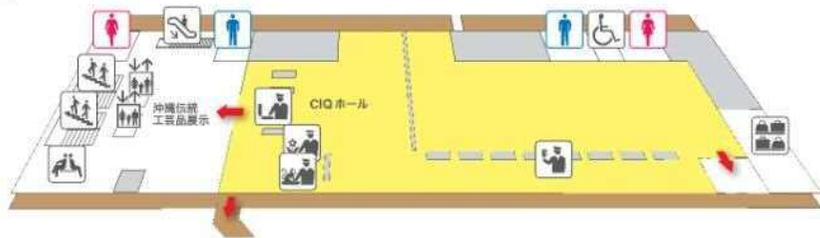


入国審査ホール

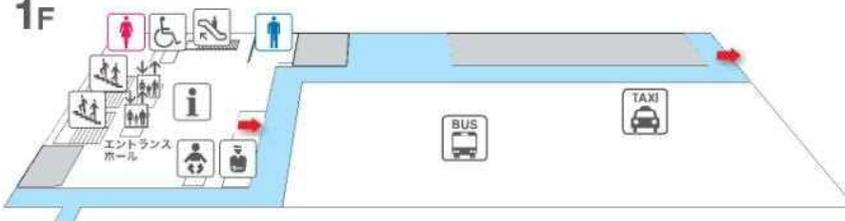
Rf



2F



1F



フロア ガイド

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li> インフォメーション<br/>Information</li> <li> 警備室<br/>Security Office</li> <li> 授乳室<br/>Nursery room</li> <li> バスのりば<br/>Buses</li> <li> タクシーのりば<br/>Taxi stand</li> <li> 男子トイレ<br/>Gentlemen</li> <li> 女子トイレ<br/>Ladies</li> <li> 多目的トイレ<br/>Restroom for the Physically Challenged</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li> 待合スペース<br/>Waiting Area</li> <li> 動物検疫<br/>Animal Quarantine</li> <li> 植物検疫<br/>Plant Quarantine</li> <li> 税関<br/>Customs</li> <li> 出入国審査ブース<br/>Immigration</li> <li> Duty Free</li> <li> 男子トイレ<br/>Gentlemen</li> <li> 女子トイレ<br/>Ladies</li> <li> 多目的トイレ<br/>Restroom for the Physically Challenged</li> </ul> |
|---|--|



観光案内所

# 参考：那覇クルーズターミナルでの賑わいづくり(臨時免税店)

## ■臨時免税店とは

外航クルーズ船が寄港する港湾施設内で、消費免税店が臨時的に店舗を出店できるよう規制が緩和。(H27施行)

## ■これまでの実績

那覇港では、平成28年12月から実施し、平成29年7月までにのべ31店舗出店した。

(毎月出店希望者を公募し選定)

<よく売れた商品> 健康食品、菓子類、化粧品、理美容器具、ステンレスボトル

<一人あたりの使用金額> 1,000円～6,000円程度

(出店業者へのヒヤリングより)

那覇クルーズターミナル臨時免税店舗配置図(1階ピロティ内)



# 那覇港の観光資源

波の上ビーチ: 客船バースから500m

- ・砂浜の延長 500m
- ・白い砂浜ときれいな海水
- ・海水浴とビーチ遊び



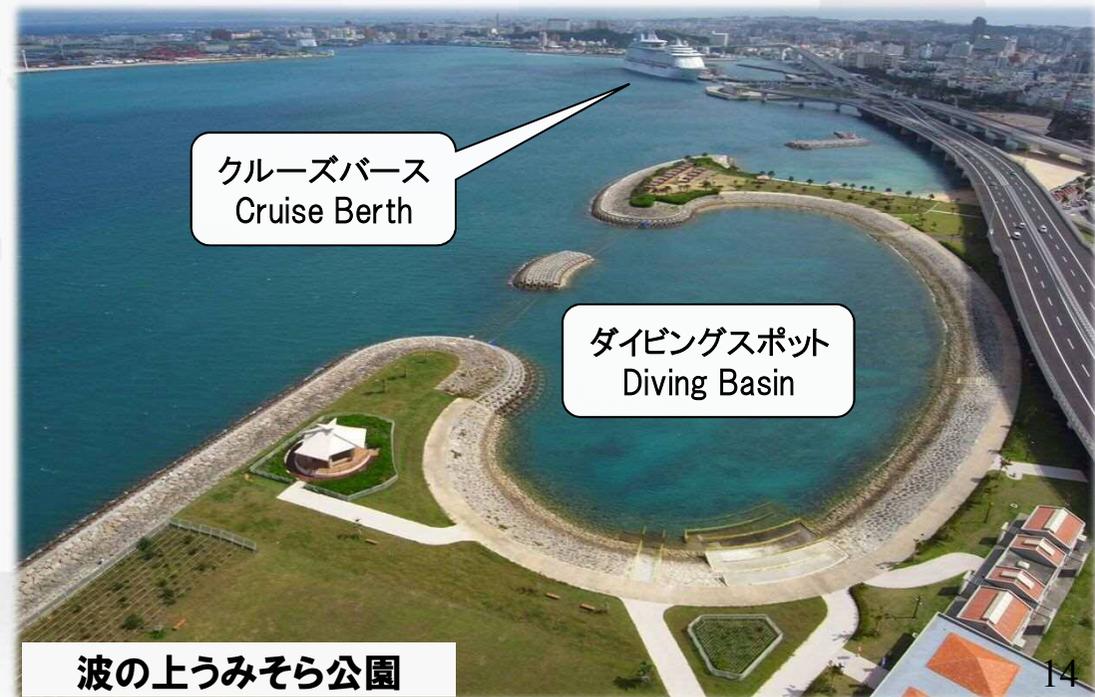
ホエールウォッチング: 1月~3月

- ・那覇港から多数のツアー出発



波の上みそら公園: 客船バースから1.5km  
(2013年春オープン)

- ・海浜の延長 470m
- ・シュノーケル、スキューバダイビング
- ・バーベキュー
- ・美しい夕日



# 那覇港のおもてなし



# 那覇港のおもてなし





平成26年8月18日  
スーパースター・アクエリアス 感謝の夕べ



平成26年8月23日  
クルーと一般の方による海中見学会



平成26年8月19日  
クルーと地域住民の交流グランドゴルフ



平成26年8月23日  
体験学習で覚えたエイサーを乗客に披露

クルーズバース  
Cruise Berth

ダイビングスポット  
Diving Basin

**波の上みそら公園**

**Naminoue Umisora Park**

# 波の上みそら公園に生息するサンゴ、魚類、大型底生生物

## Versatile Corals, Fishes and Marine Organisms in Naminoue Diving Basin

